

民生文教常任委員会報告書

令和3年3月19日第1回定例会における議決に基づき、当委員会の所管について調査した結果を下記のとおり報告する。

令和3年5月19日

七飯町議会議長 木下 敏 様

民生文教常任委員会
委員長 坂本 繁

記

【所管事務調査事項】

- ・町内小中学校における登下校時の安全確保について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業について

令和3年3月25日、4月20日、5月19日の3日間、委員会を開催し、民生部長、教育次長、子育て健康支援課長、学校教育課長の出席を求め、提出資料に基づいた説明の聴取を行った。

1 調査の目的

町内小中学校における登下校時の安全確保の現状、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施方法について調査を行った。

2 調査の方法

町内小中学校における登下校時の安全確保については、過去5年間の小中学校

の通学路における事故の現状に関する資料の提出を求め、教育次長、学校教育課長への聴取を行った。

新型コロナウイルスワクチン接種事業については、ワクチン接種事業の実施計画、ワクチン接種開始から終了までのスケジュール、医療従事者及び会場確保の状況、ワクチンの入荷状況等の資料の提出を求め、民生部長、子育て健康支援課長への聴取を行った。

3 町内小中学校における登下校時の安全確保について

過去5年間の小中学校の通学路における事故の現状については、表1のとおりである。

委員からは、事故が起きた時の学校側から児童生徒への注意喚起について質疑があり、校長から教職員へ、教職員から児童生徒へと情報を共有し、交通安全に対する指導を行っているとの回答であった。

【表1】過去5年間の小中学校の通学路における事故の現状

(平成28年度)

事故の種類	車と接触
負傷箇所・程度	左腕、左腰打撲
学校名・学年	大中山小1年
事故発生日時	平成28年4月19日(火)12時00分頃
事故発生の場所	町道大川9号線の七飯南幼稚園付近
事故の概要	下校時に、友達2名と七飯南幼稚園付近の横断道路を渡ろうとしたところ、車に接触した。

(平成30年度)

事故の種類	車と接触
負傷箇所・程度	左足腓骨骨折
学校名・学年	大中山小1年
事故発生日時	平成30年5月16日(水)14時40分頃
事故発生の場所	道道大野大中山線の福山踏切付近
事故の概要	道道大野大中山線(道道969号)の福山踏切で、当該児童が踏切を渡った後、道路を横断している時に国道5号方面から来た加害車両の後方部と児童の左足が接触し転倒した。

(令和2年度)

事故の種類	車と接触
負傷箇所・程度	右ひざ、右半身の擦り傷、打撲
学校名・学年	大中山小1年
事故発生日時	令和3年3月10日(水)7時55分頃
事故発生の場所	大中山小学校駐車場付近
事故の概要	小学校前多目的広場駐車場前の国道の歩道を歩行中、大川方面から右折し駐車場に進入しようとした自動車と接触した。

※七飯町立学校管理規則第21条の規定による報告から抜粋

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

(1) ワクチン接種事業の実施計画について

新型コロナウイルスのワクチン接種は、国の指示のもと、都道府県の協力により、各市区町村において予防接種を実施するものであり、七飯町ではワクチン接種体制を強化するため、保健センター内にワクチン接種対策チームを編成し、円滑で混乱を極力抑える方法の検討を行っている。

ワクチンの搬入量や供給時期など未確定の部分が多くあるため、接種体制の確保や案内書・接種券の発送、受付予約・個別医療機関での接種及び集団接種の必要回数など、町内医療機関の医師と入念な協議を行っている。

① 接種の案内書・接種券の発送について

65歳以上の高齢者を優先に接種開始、その後、基礎疾患のある方、16歳以上65歳未満の方の順に接種を進めていく方針が国から示されている。

ワクチンの供給時期や、供給量の見通しが不確定な現状の情報等から推測すれば、少人数での供給量となり、また、供給時期も不安定な状況であることを危惧している。

このため、まずは、高齢者施設入居者(従業者含む)からワクチンの数量に応じて接種開始し、その後、案内書及び接種券をワクチンが確保できる数量に応じて年代別(高齢順75歳以上⇒65歳以上75歳未満)に分けて発送するなど、混乱を防ぐ対策を行う。

② 接種予約方法について

当町では限られた人員体制の中で、円滑な予約受付を実施するため、コール

センター業務を民間事業者へ委託し、電話及びインターネットによるWEB予約を可能とする手法を導入。委託事業者については、名鉄観光サービス(株)函館支店であり、函館市内にてコールセンターを設置している。委託期間については現時点で9月末までとしているが、ワクチンの供給時期が大幅にずれ込むと、委託期間の延長等を伴う契約変更が必要となる。

③ 接種を受ける場所（個別医療機関、集団接種）について

特に65歳以上の高齢者においては、少なからず基礎疾患を有している方が多いことから、積極的にかかりつけ医などの受診機関を勧めていきたい。

ワクチンの供給が安定次第、町内医療機関の医師2名、看護師4名によるシフトにより、土日開催の集団接種へ移行を行っていく。

(2) ワクチン接種開始から終了までのスケジュールについて

現時点で把握しているワクチン供給量を想定した内容でのワクチン接種開始から終了までのスケジュールについては、表2のとおりであるが、ワクチン供給量の状況によっては大幅に変更となる可能性がある。

【表2】 ワクチン接種開始から終了までのスケジュール（4月20日現在）

接種区分	R03											R04		備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
医療従事者 約770人 (七飯町内)	→													・基本型医療機関1施設 ・連携型医療機関7施設
高齢者施設 (従事者含) 約1,350人			→											・嘱託医及び協力医の施設派遣による接種
高齢者 (65歳以上) 約9,670人				→										・町内個別医療機関及び町保健センター実施の集団接種12施設にて実施 ・町内かかりつけ医療機関及び町外かかりつけ医からの接種可否判断を要す
20歳以上 65歳未満 基礎疾患有する方 約880人							→							・町内個別医療機関及び町保健センター実施の集団接種12施設にて実施 ・町内かかりつけ医療機関及び町外かかりつけ医からの接種可否判断を要す
16歳以上 65歳未満 約14,930人									→					・町内個別医療機関及び町保健センター実施の集団接種12施設にて実施

(3) 医療従事者及び会場確保、ワクチン入荷状況について

町内医療機関と入念な協議を実施した結果、1週間あたりの接種可能数は1,500人相当であり、その他、七飯町保健センター内で月2回集団接種を行う計画である。なお、医療従事者及び会場確保の状況については、表3のとおりである。

【表3】医療従事者及び会場確保の状況

番号	医療機関名	実施可能日	接種可能 (週の人数)
1	社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院	午前) 月～木 午後) 火・水	120
2	医療法人社団 宮村内科医院	午前) 月～土 午後) 月・火・木・金	288
3	医療法人社団 立青会なるかわ病院	入院患者のみ	50
4	七飯耳鼻咽喉科クリニック	火・金	12
5	医療法人社団 向井クリニック	午前) 月～土 午後) 月・火・木・金	612
6	医療法人社団 三木内科泌尿器科クリニック	午前) 水 午後) 月～金	36
7	医療法人社団 慈友会 望が丘病院	午前) 月～金 午後) 月・水・金	96
8	小児科ひよこクリニック	午前) 月・火・木・金・土 午後) 月・火・木・金	216
9	医療法人社団 丸山内科医院	月・火・木・金	48
10	社会福祉法人 青雲の森 野畔の花クリニック	月・火・金	36
11	はるこどもクリニック	月・水・金	36
集団	七飯町保健センター内	月2回/土曜日 1回あたり100人実施予定で調整(医師2名、看護師4名)	

ワクチン入荷状況については、4月20日現在で医療従事者用ワクチンが入荷

し、既に接種が開始されている。今後高齢者用ワクチンが入荷予定となっていることから、高齢者施設入居者（従業者含む）、75歳以上の高齢者、65歳以上の高齢者へと順次ワクチン入荷数量を考慮しながら接種券を発送する予定である。

現時点では、ワクチン入荷の正確な数量が国より示されていないが、今後は国のワクチン分配調整により定期的に供給されることが期待される。

委員からは、函館市内の医療機関がかかりつけ医である場合、函館市内で接種することは可能か、また、当日キャンセル等によりワクチンが余った場合の体制についての質疑があった。函館市内においては、接種できる医療機関が少ない状況であり、函館市民の接種を優先させるため、他自治体の住民を受け入れることは不可能である。函館市内の医療機関がかかりつけ医である住民は、事前にかかりつけ医より接種可能か判断を仰ぎ、町内の医療機関で接種することになる。また、当日キャンセル等があった場合は、ワクチンを無駄にすることがないように、各医療機関でキャンセル時対応リスト等を作成し、臨機応変に対応するとの回答であった。

5 まとめ

町内小中学校における登下校時においては、地域・学校・保護者・教育委員会が協力し通学路の安全確保を図っており、近年は重大な事故は起こっていない状況であるが、過去5年間は小学1年生の事故が3件あった。低学年の児童は基本的な交通ルールが身に付いていない年代であることから、今後も登下校時の安全確保には十分配慮願いたい。

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種事業については、今後開始される町民への円滑な接種を実施するため、保健センター内に新型コロナウイルスワクチン接種対策チームを設置し、町内医療機関の医師と入念な協議を実施している。

現段階では未確定である国からのワクチン供給量に合わせて、効率的な接種体制を構築し、住民に対して分かり易い周知、広報、相談等を徹底することを望み、委員会報告とする。